

愛仁会リハビリテーション病院 広報誌

あいリハ plus



再びその人らしい生活に

秋号
2025.10

vol.114

特集 リハビリ最前線

vol.6 障がい児病床での小児在宅医療支援

特集リハビリ最前線

vol.6 障がい児病床での小児在宅医療支援

愛仁会リハビリテーション病院では、2011年7月に現在地へ新築移転したのを機に、障がい児病床「ひまわり」(ひまわり病床)を含む障がい者病棟を開設しました。

今号では、ひまわり病床における小児在宅医療支援の取り組みについて、詳しくご紹介します。

● ひまわり病床の紹介

ひまわり病床では、隣接する高槻病院と緊密に連携し、「その子らしさを大切に」をモットーに、重症心身障がい児を中心に長期入院による在宅移行支援や在宅生活中の患児・ご家族への在宅ケア支援を行っています。

病床数は14床で、現在は重症患児5名のケアを行いながら、残る病床で短期入院(レスパイト入院：ご家族の休息のための入院)の子どもたちを受け入れています。

短期入院は、医療的なケアを必要とする子どもたちのご家族を支援する制度で、ひまわり病床では原則1歳から18歳までの「常時高度な医療的ケアを必要とし、病状が安定している方」「身体障害者手帳1級または2級相当の方」を受け入れています。

長期入院の就学児には、支援学校の訪問教育が実施されています。また、小児から成人へと自立していく患児とそこにご家族には、小児診療科から成人診療科へとスムーズに繋げていく移行期医療にも取り組んでいます。

ひまわり病床に続く廊下の壁面には、色とりどりの木々のシルエットが描かれ、病院で過ごす親子がほっと一息つけるような和やかな空間が広がっています。また、併設されたプレイルーム「みんなの森」では、成長や発達に応じた遊びを楽しむことができ、医療スタッフやご家族とのコミュニケーションを育む場としても親しまれています。



障がい児病床「ひまわり」



プレイルーム「みんなの森」

● 重い障がいのある子どもたちとその家族に寄り添って

私は1977年から、大阪府における新生児医療の地域化システムの構築に取り組みながら、1980年からは高槻病院に勤務し、大阪府における新生児搬送システムの発展にも努めてきました。

2011年にひまわり病床が開設されたのを機に当院へ赴任し、それ以降は障がい児医療に携わっています。

ひまわり病床では、医師・看護師・療法士・保育士・ソーシャルワーカーなどの多職種によるチーム医療で、長期入院を余儀なくされている重症児・医療的ケア児の在宅移行支援や短期入院による在宅ケア支援に努めています。

障がい児医療は「永年の新生児医療の中で残してきた大切な宿題では」との想いで現在に至っています。

今後とも、重い障がいのある子どもたちとその家族に寄り添っていききたいと思います。



診療部 李容桂 部長

● 可能な限りご自宅での生活に近いケアを

ひまわり病床では、可能な限りご自宅での生活に近い子どもたちに寄り添ったケアを実践しています。医療的なケアが必要な場面でも、安心して心地よく過ごせるよう、一人ひとりの状態に合わせた対応を心掛けています。なかでも、呼吸器を使用しているお子さんの入浴支援では、複数のスタッフが連携し、安全に配慮した細やかなケアを行っています。

入院中に体調を崩されることがないように、安定した状態を維持するための予防的な看護にも努めています。

また、短期入院では、ご家族の休息確保などのメリットもありますが、子どもたちにとっても、他のお子さんとの交流やリハビリの練習、ご家族以外からのケアを受ける経験を積む貴重な機会になっています。



看護師



痰の吸引により呼吸をサポート

●一緒に楽しめる遊びの中で運動を提供

理学療法では、子どもたちの成長や日々の生活を援助するために、発達の促進や呼吸状態の維持・改善を目的に関わっています。

子どもたちは「自発的に動く」経験を通して成長するため、身体を動かすことに制限のあるお子さんには、楽しいことを見つけながら、一緒に楽しめる遊びの中で運動を提供しています。

また、呼吸や循環の状態は、子どもたちが安心して遊び、成長していくための基盤となるため、日々の呼吸ケアにも努めています。



理学療法士



病床前での歩行練習

●一人ひとりの「できること」を大切に

作業療法では、遊びや日常動作を通じて、心と体の発達を支援しています。また、他職種と協働で実施している院内での活動や、ご自宅でのご家族との活動へ元気に参加できるように、心身の機能維持・向上を目指して様々な機能訓練を行っています。

何より、子どもたちへの支援においては、一人ひとりの個性や「できること」を大切にしています。

子どもたちの小さな変化にも寄り添いながら、ご家族と一緒に成長を見守っています。



作業療法士



顔をふく動作の練習

●些細な表情の変化や反応を大切に

言語聴覚療法では、子どもたちの発達や個性に合わせて、遊びや食事を通したサポートを行っています。些細な表情変化や反応を大切に、笑顔をたくさん引き出せるように心がけています。

ことばや食べる力が少しずつ育つ姿に立ち会えることは大きな喜びであり、私のやりがいにつながっています。

入院中の子どもたちが安心して楽しく過ごせるよう、他職種やご家族とも協力しながら支援しています。



言語聴覚士



安全に楽しく「食べる」を支援

●絵本や玩具、季節の遊びを通して心を育む

一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、「遊び」と「生活」を支え、安心して過ごせる環境づくりを大切にしています。

絵本やおもちゃ、ふれあい遊びなどを通して心の成長を育みつつ、食事・排泄・睡眠などの生活面も保育的な視点で見守っています。

また、長期入院中の子どもを中心に、夏まつりやクリスマス会など、季節を感じられるレクリエーションを多職種と連携して催し、感情の表出や発達を促しています。

子どもが自分らしく過ごし、日々の中で小さな喜びや発見を感じられるよう支援しています。



保育士



みんなで楽しく迎えたクリスマス



夏祭りの一場面

●地域での在宅生活を支えるために

ひまわり病床の短期入院を利用されている子どもたちは医療的ケアが必要で、他の福祉のショートステイでは対応が難しいお子さんがたくさんおられます。ご家族の休息や兄弟姉妹の行事、お産の時の預け先としてのニーズに加え、保護者の入院や冠婚葬祭などの急な利用希望の調整窓口も担っています。

医療的ケアが必要な子どもたちが生き生きと在宅生活を送れるよう、地域の関係機関と協力しながらコーディネートを行っています。



ソーシャルワーカー

脊髄損傷外来のご案内

当院では、脊髄損傷の患者さんに対して、在宅生活におけるさまざまな問題(排泄障害・痙縮・補装具など)への支援や改善策の提案を行うことを目的に、脊髄損傷の外来を設けています。
お気軽にご相談ください。

対象となる方

- 脊髄損傷により日常生活に支障がある方
- 排泄管理に不安がある方
- 慢性的な痛みや痙縮でお困りの方
- 車椅子・シーティングの見直しをご希望の方
- 退院後の生活に不安を感じている方 など



主な診療内容

- 排泄のご相談 (尿・便の管理、自己導尿の支援など)
- 下部尿路機能の評価 (エコー、膀胱機能評価)
- 疼痛・痙縮のご相談
- 車椅子の選定・調整
- シーティングの評価・座圧測定 (快適性・褥瘡予防)
- 補装具の提案

診療日時

毎週 火曜日 9:30 ~ 11:00 1日 4名

毎週 木曜日 14:30 ~ 15:00 1日 2名

※火・木とも祝日は除きます

受診の流れ

問診

医師の診察

評価・検査

処方・アドバイス・指導など

脊髄損傷外来に関するご相談・ご予約はこちらまで

愛仁会リハビリテーション病院

072-683-1212

「脊損外来の予約」
とお伝えください。

ホッとひととき



診療部長 李 容桂 先生

息抜きや趣味についてお話した
だくこのコーナー。今回は診療部長
の李容桂先生です。



鮎の友釣りを楽しむ李 先生

広島県山間の山や川に囲まれて育った私は子どもの頃より「川」に強い愛着を感じていました。30代の頃、実家のある滋賀県の安曇川上流域で「鮎の友釣り」を覚え約10年近くの間のめり込んでいましたが、その後は勤務が忙しく釣行も途絶え懐かしい想い出のみとなっていました。ところが今春、義母の23回忌で実家を訪れた際にふと過去の思い出が甦りもう一度やってみようかと心に決めました。鮎の友釣りは野鮎が縄張りに入ってくる他の鮎を追い払う

習性を利用した釣り方です。久方ぶりに冷たい清流に入り早瀬の中で老体を動かしていると、その瀬音に激んだ心まで洗い流されるような爽快な気分へと変わっていきます。ガーンとしたアタリとともに下流へと泳ぎ回る野鮎と友鮎2匹を上流へ引き寄せ取り込み胸ビレ後ろの鮮やかな黄色の野鮎と出会う瞬間はまさに感無量です。暑い夏を乗り越えるのには、こんな技術や体力を使うスポーツフィッシングを楽しむのも良いですよ。

薬剤師に聞く!

あなたは、お薬をいくつ飲んでいますか?
「ポリファーマシー」
になっていませんか?

薬剤科 | 奥西 美奈 主任

薬の数が増えると、飲み間違いや飲み忘れが起こりやすくなります。また、薬同士が相互に影響しあうことで、思わぬ副作用が出る場合があります。

特に高齢になると、複数の病気を持つ人が増えてきます。受診する医療機関が複数になることも、薬が増える原因となります。また、肝臓や腎臓の働きが低下し、薬の分解や体外への排泄に時間がかかるため、副作用が出やすくなります。こうした背景から、ポリファーマシーになりやすくなります。

ポリファーマシーにならないためには、日頃からかかりつけの医師や薬剤師を持って、処方されている薬

「ポリファーマシー」とは…
多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬が飲めなくなったりしている状態をいいます。



の情報を把握してもらっておくのが安心です。「何か変だな」と感じる体調の変化や、「薬が飲みにくい」といったことがあれば、医師や薬剤師に相談しましょう。また、自分の処方されている薬を把握するためにも、お薬手帳は一冊にまとめて持っておきましょう。



<注意>

薬は、急にやめると、病状が悪化したり、思わぬ副作用が出る場合があります。気になる症状があっても、勝手に薬をやめたり、減らしたりするのはよくありません。

新任医師のご紹介

診療部 医員

神末 真由



2025年10月より愛仁会リハビリテーション病院に着任いたしました神末真由と申します。これまで高槻病院にて循環器内科医として勤務しておりました。「再びその人らしい生活に」という病院理念に基づき、患者様、そのご家族様が安心してこれまでの生活に戻れるよう、多職種と連携し、より良い医療・リハビリテーションを提供できるよう尽力してまいります。地域の皆様、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

健康栄養教室のご案内

地域住民の方を対象に月に1回、健康栄養教室を開催しています。参加無料ですので、お気軽にご参加ください。

開催日

11月20日(木) 中性脂肪・コレステロールが高いと言われたら？
脂質異常症を予防・改善する食事

12月18日(木) 目指せ『適塩』！ つい多くなりやすい塩分を
上手に減らそう

開催時間 10:00 ~ 11:00

開催場所 当院3階「愛仁会ふれあい広場」



2026年3月まで毎月開催！
ホームページやSNSでも随時ご案内します！

年間スケジュールは
こちら



たかつき産業フェスタに出展します！

11月8日(土)に開催される「たかつき産業フェスタ2025」に今年も高槻病院と合同で出展します。インボディや握力計による体成分の分析、筋肉量や体脂肪量、筋力などの測定を行います。測定後には理学療法士や管理栄養士から生活習慣、食習慣に関するアドバイスもあります。この機会にご自身のカラダをチェックしてみませんか？

愛仁会ブースへぜひお越しください！

たかつき産業フェスタ

開催日時 11月8日(土) 11:00 ~ 16:00

開催場所 安満遺跡公園(高槻市八丁畷町12-3)



詳細はこちら



編集後記

今号の特集では、ひまわり病床で子どもたちと向き合う多職種の方々をご紹介しました。子どもたちへのまなざしに込められた思いや、日々の関わりの中で育まれる温かな関係性が皆さんに少しでも伝われば嬉しく思います。そして、今号の表紙を飾るのも、ひまわり病床を担当する職員の皆さんです。明るい笑顔で子どもたちやご家族を迎えるひまわり病床の和やかな雰囲気を感じ取っていただけたら幸いです。これからも医療現場で働く方々の思いを、等身大の言葉で丁寧にお届けしてまいります。次号もどうぞお楽しみに！ 広報室 加藤 友恵

アンケートに
ご協力ください！



愛仁会リハビリテーション病院

三島圏域地域リハビリテーション地域支援センター

〒569-1116 大阪府高槻市白梅町5-7 TEL 072-683-1212
<https://www.aijinkai.or.jp/reha/>



ホームページ



インスタグラム



フェイスブック



読者アンケート